

指針の方向性

(平成27年3月策定)
[旧 指針] 主に外国人への生活支援



[新 指針] 外国人への生活支援を基礎としつつ、外国人と共に学び、共に活躍できる地域を創る

(令和2年3月策定)

長野県県民文化部国際課

1 主な現状と課題

2 施策の方向性

3 課題の解決に向けて取組む施策

しんしゅう多文化共生新時代で目指す社会

○多文化共生施策を実施している市町村
・45市町村

多様性を活かした持続可能な地域づくり



多文化共生モデル地域の創出と発信

地域住民の自主的・主体的活動の推進

外国人等の活躍・交流活動の推進

- ・多文化共生モデル地域からの情報発信
- ・多文化共生意識の浸透
- ・外国人に関する人権教育や啓発
- ・支援や交流のために活動するボランティアの確保
- ・地域における多文化理解の推進
- ・交流活動の支援・連携・協働の実施
- ・グローバル人材・留学生等の活躍支援
- ・活躍している外国人・団体のPR
- ・地域活動への参加の促進

多文化共生に取り組むところがたくさんある

地域での交流がどんどん増える

誰でもどこでも活躍できる

○日本語教室がある市町村
・31市町村

学びとコミュニケーションによる地域づくり



外国人児童生徒等の日本語教育の充実

地域における日本語教育の充実

「やさしい日本語」の普及

- ・外国人児童生徒等の日本語教育の充実
- ・不就学を防ぐ取組、就学機会の確保
- ・就学・進学・就職への支援
- ・多文化共生の視点に立った教育の充実
- ・地域における日本語教育の支援
- ・地域における日本語教育の担い手の養成
- ・日本語教育等人材バンクの設立
- ・地域への普及
- ・学校への普及
- ・事業者への普及

すべての外国人児童生徒が日本語教育を受けられる

日本語や文化を学ぶ場所が増える

みんなが「やさしい日本語」について知っている使ってる

○外国人が求めていること
①多言語での情報提供、相談体制の充実
②日本語の学習支援
③労働環境の改善
④医療・保健・福祉施策の充実

誰もが暮らしやすい地域づくり



情報の多言語化

相談体制の充実

労働環境の整備

生活支援 (医療・住宅・防災等)

- ・多言語化の推進
- ・翻訳・通訳者の紹介、派遣
- ・多言語相談窓口の充実
- ・市町村への支援
- ・就労のための日本語学習の支援
- ・職場内共生の推進
- ・外国人が働きやすい就労環境整備
- ・労働・雇用に関する相談体制の充実
- ・医療受診体制づくりの促進
- ・保健・福祉・介護分野での支援
- ・住宅確保のための環境整備
- ・防災知識の普及、災害対策の充実

いろいろな言葉で情報が提供されている

困った時に相談できる

災害が起きたらどうすればいいかわ知っている

安心して病院に行くことができる

住むところに困らない

安心して働くことができる

○関係機関の連携が弱い

多文化共生推進体制の整備 (多様な主体との連携・協働体制の構築)

○施策を進める根拠法令がない

《国への要望》 多文化共生に係る基本法の制定

支援や交流のために活動するボランティア・地域住民が増える

地域活動に積極的に参加する外国人が増える

地域の担い手が増える

誰もが活躍でき地域が元気になる

意識しつくり・地域しつくり

相互理解に必要な

まず、大事